



北竜町総合戦略2025

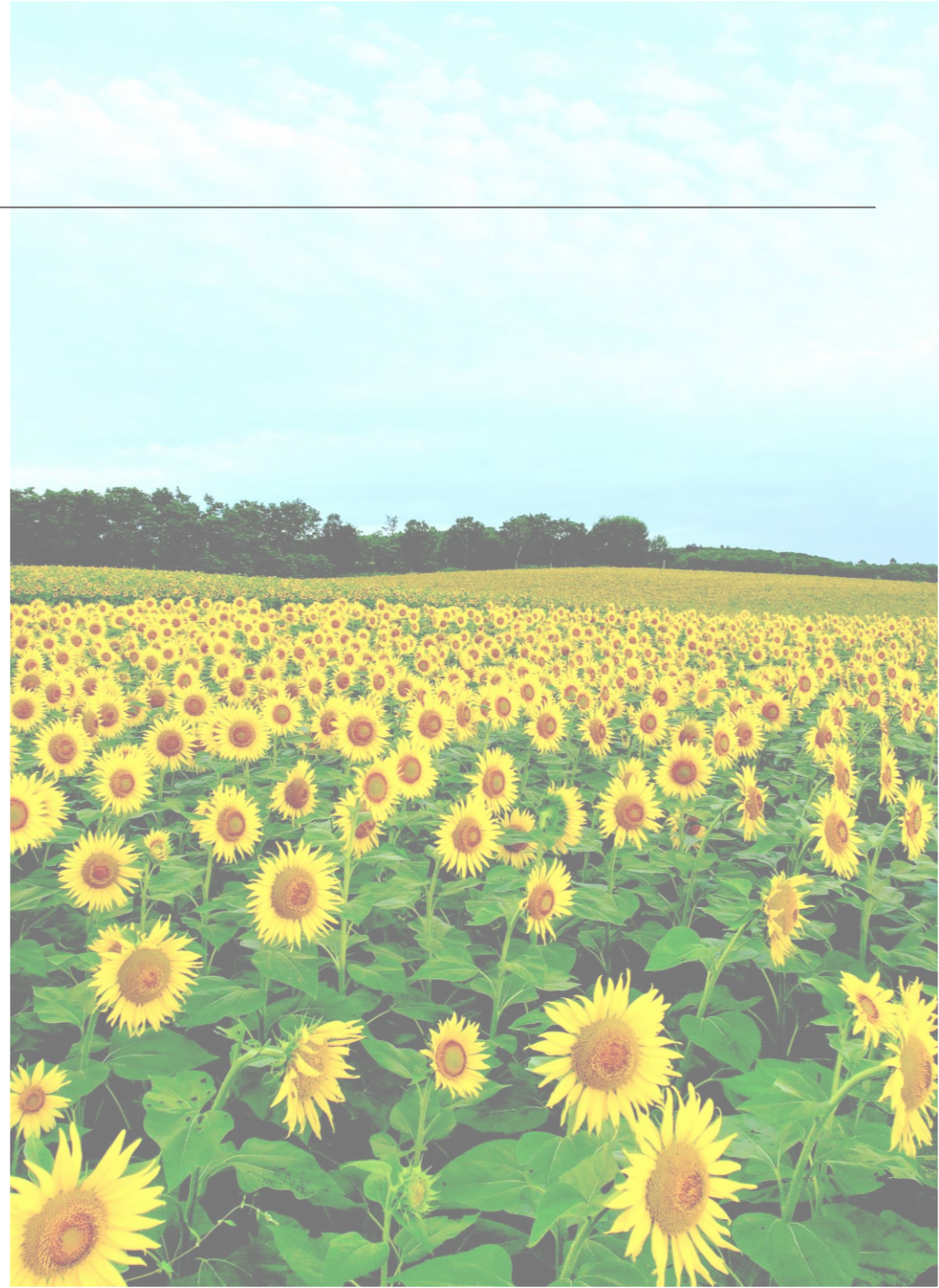
第3期北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(2025年度～2029年度:5年間)

2025年3月
北竜町



目次

	(ページ)
1 背景	1
2 課題	2
3 基本方針	4
4 最重要業績評価指標	5
5 基本目標	6
6 横断的目標	18
7 進め方	22
8 計画期間と進捗	25



- まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条に基づき、国の「総合戦略」を勘案し、市町村は、総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）を、策定するよう努めなければならないこととされている。
- 北竜町においても、平成27年10月に、第1期総合戦略（2015年度～2019年度:5年間）策定、続けて、第2期総合戦略（2020年度～2024年度:5年間）を策定し、この間、地方創生に取り組んできた。
- 日本全体で、人口・生産年齢人口の減少が進み、東京圏への一極集中の流れが止まらず、産業構造の劇的な変化に直面する中、今回、国が示した地方創生2.0の「基本的な考え方」を踏まえ、本町においても、地方創生の充実・強化に向けて、切れ目のない取組を進めることが求められている。



「北竜町総合戦略2025」を策定
(計画期間:2025年～2029年の5年間)

- **人口減少と高齢化** 北竜町の人口は約1,600人で、高齢化率が46%と非常に高いことから、人口減少に歯止めがかかっていない。

2025年3月改訂

「北竜町人口ビジョン」では

✓ **将来の人口**

→ 今後、高齢者人口（65歳以上）、生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（15歳未満）ともに、5年ごとに、10%程度の減少が続いていくと、推測される。

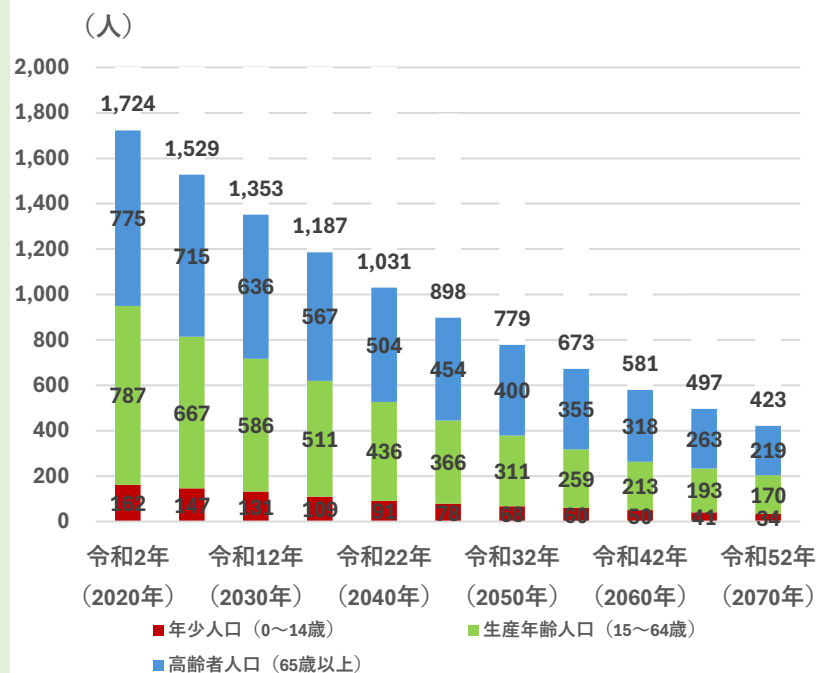
✓ **人口動態への影響**

→ 出生率上昇による、自然増減の影響度は、「2（100～109%）」、社会増減への影響度は、「5（160%）」となり、本町の人口減少対策としては、「転入・転出対策」の方が影響が大きい。

✓ **地域に与える影響**

→ 農業・建設業など主要業種の就業者数は、2070年頃には、現在の1/5程度になる予測。

【将来人口推計】（年齢3区分別）



- **地域の担い手不足** 生産年齢人口の減少や、若い世代の転出（大学進学や町外への就職等）により、農家など地域の担い手が不足している。
- **産業構造の偏り** 主力産業の農業は、関わる人や続けていく人の不足に加え、付加価値の向上や、稼げる品目の拡大など、農業経営に対する課題がある。また、生産額の大きい建設業は、人手不足対策や、公共的な役割、依存度などについて、課題整理が必要。
- **観光資源等の制約** 「ひまわりまつり」の集客力は高いが、その他の観光資源（独自のお土産、メニューなど）や、コンテンツ（アクティビティや体験など）が十分ではない。一年を通じた、外部との接点が不足している。現行の「ひまわりまつり」や「観光センター」の、若い世代からの評価や魅力が、低下しつつある。
- **地域間の連携不足** 他地域との横のつながりや、課題共有が十分でない。また、他地域とwin-winとなるような取組がない。

【基本方針】

楽しい「ひまわり暮らし」を実現し、 次世代に引き継がれる未来志向のまちづくり

北竜町の課題を踏まえ、目指す姿を実現するための基本方針を掲げる。

コンセプト

人口規模が小さくても、しごとや活躍できる場所と機会があり、地域経済が元気に循環し、“お互いさま”の地域コミュニティが機能している。

「人を大事にし、安心して楽しく働き、楽しく暮らせる」まちを、未来につなげていく。

特に、先端的な学び、特色ある人づくりのしくみがあることで、子どもから高齢者まで、町民一人ひとりの、可能性を最大限引き出すとともに、その選択肢を拡大していく。

都市部の民間企業人材や、専門的なスキルや能力を持つ人材、大学生など若い人材など、多様な関係人口を増やすこと、相互につながりながら、高め合うことで、新しい流れをつくり出し、ひまわりのように、暖かさと、希望と、幸せが実感できるまちを目指す。

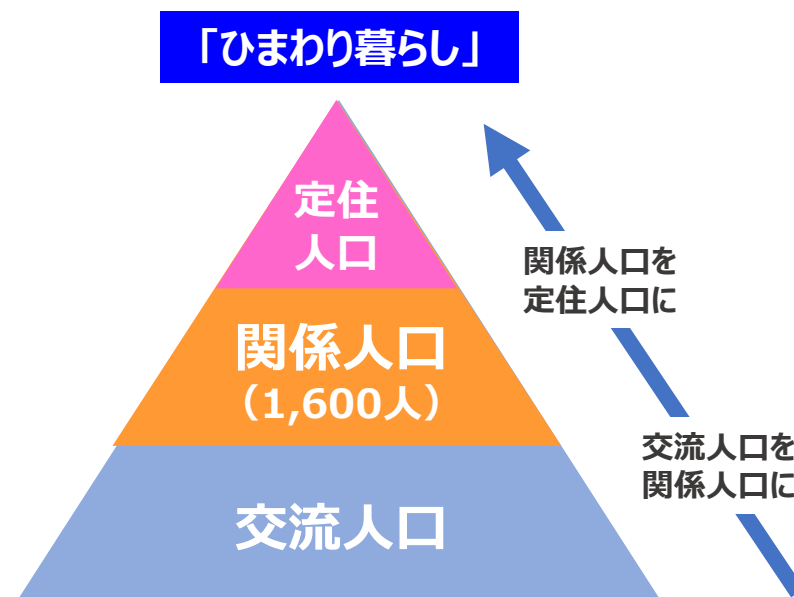
「ひまわり暮らし」を、必ず、未来につなげていくために、KPIの中で最も重要なものを、最重要KPIとし、町で暮らす人、町で生まれ町の外で活躍する人、そして、これまで町を創ってきたすべての人たちと、以下のとおりの、『約束』を交わす。

【最重要業績評価指標】

2030年度の 関係人口を 1,600人にする

関係人口とは

元々は町外で暮らしていたが、北竜町に関わる何らかの機会（例:「ひまわりまつり」など観光で来訪した、町内事業所で仕事をした、農業体験や研修に参加した）があったことがきっかけで、顔が見える関係性を構築し、町内にやってきて活躍するようになった人、定期的にまちづくりに関わってくれる人、まちづくりの取組やプロジェクトに、主体的に携わっている人、町の強力なファンとして、ふるさと納税や寄付などにより、金銭的な応援をしてくれている人、などのこと。



国の「地方創生2.0」の考え方や、基本方針を踏まえ、4つの基本目標と、横断的目標を掲げる。

1 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

2 東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散への対応

3 付加価値創出型の新しいまちの経済の創生

4 デジタル・新技術の徹底活用

横 「産官学金労言」の連携、機運の向上と、新しいまちづくりのしくみ

基本目標

5

1 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

①

魅力ある働き方、職場づくり、人づくりを起点にした社会の変革により、楽しく働き、楽しく暮らせる場所として、「若者・女性にも選ばれるまち」をつくる

考えられる施策や取組

- ✓ まちなか活性化・コンパクトタウンの推進
- ✓ まちの景観形成・ランドデザインの推進
- ✓ 安心・快適な居住環境の確保・充実
- ✓ 多様なまちづくり人材の確保・育成
- ✓ 多様な働き方を提供する組織の設立・運営サポート
- ✓ 「ひまわりホールディングス」の構築・伴走支援事業
- ✓ 妊娠から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援
- ✓ 地域全体で子育てする気運と環境醸成
- ✓ 安心・楽しい子育て環境の充実強化
- ✓ 保育園受入れ環境等の整備・充実

- ✓ 地域が支える子どもの居場所づくり
- ✓ 義務教育学校と多世代交流施設の複合化・連携の推進
- ✓ 地域や町外とつながり学ぶ教育・子育て
- ✓ 多様な人材との協働・連携による魅力的で特色ある学びの創出・提供
- ✓ 楽しく学べる学習環境の整備・充実
- ✓ 多様な学びの機会を提供する運営体制の構築・サポート
- ✓ 地域と保・小・中が連携しあう教育推進
- ✓ 大学生やクリエイター等との連携による未来創造・交流コミュニティの構築・運営サポート

1 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

② 年齢を問わず誰もが安心して暮らせるよう、地域のコミュニティ、日常生活に不可欠なサービスを維持する

考えられる施策や取組

- ✓ 介護・福祉・医療連携エリアの環境整備
- ✓ 多世代が交流できる場やしくみの構築
- ✓ 老人福祉センターの機能強化と環境整備
- ✓ 特別養護老人ホームの快適な環境整備
- ✓ 地域コミュニティ施設や機能の充実
- ✓ 多世代への包括的な支援体制の整備
- ✓ 安心生活関連サービスの充実
- ✓ 高齢者の生活支援・生きがい対策充実
- ✓ 高齢者が活躍できるコミュニティづくり
- ✓ テーマ型コミュニティの創出・活動支援
- ✓ 地域運営組織のしくみづくり・運営支援
- ✓ 共助による地域づくりの推進

- ✓ 楽しく暮らせる健康づくりサポートの充実
- ✓ 新たな地域公共交通ネットワークの確立
- ✓ 北竜版MaaSの推進
- ✓ 子どもたちの移動手段の確保
- ✓ 高齢者の免許返納促進と移動手段の確保
- ✓ 地域内の人とモノの移動システムの構築
- ✓ 新規就農や農業体験の積極的受入れ
- ✓ 町内事業者への各種サポート

基本目標

5

1 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

③ 災害からまちを守るため、事前防災、危機管理に取り組む

考えられる施策や取組

- ✓ 街路灯設置・特殊詐欺被害防止等防犯対策の強化
- ✓ 交通安全運動等の推進
- ✓ 防災情報伝達手段のデジタル化
- ✓ 防災備蓄品の充実と新たな機器・資機材等の整備
- ✓ 災害時の避難生活環境の改善
- ✓ 停電時の電源確保
- ✓ 防災機能を有する公園や建物の整備
- ✓ 自主防災組織の充実・強化
- ✓ 防災教育の推進
- ✓ 消防団員の確保・育成
- ✓ 消防体制の近隣との連携強化、効率的な運営
- ✓ 救急体制の整備
- ✓ 地域医療体制の確保・充実
- ✓ 高齢者の日常生活の安全安心の確保
- ✓ 安全な暮らしを守る除雪体制の確保
- ✓ 道路・河川の緊急自然災害の防止対策の強化
- ✓ 公共インフラの適正な維持管理
- ✓ 国・道・近隣自治体との緊密な提携

1 | KPI（重要業績評価指標）

項目	基準値 (2024年度末)	数値目標 (2025年度～2029年度累計)
中心市街地エリアに 新たに居住した人	0人	54人
新たに構築する 地域公共交通システムの 利用者数	0延人	50,784延人

基本目標

5

2 東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散への対応

- ① 東京など都市部からの地方への移住や企業移転、関係人口の増加など人の流れを創り、東京圏への過度な一極集中の弊害を是正する

考えられる施策や取組

- ✓ まちのブランド確立とブランドマネジメントの強化
- ✓ まちのブランド共有とタウンプライド醸成
- ✓ 戦略的なプロモーションの展開
- ✓ 都市部の民間企業との連携・相互に利益を生むシステムづくり
- ✓ 都市部等の民間企業人材との新たな協働事業や、共創・イノベーションが生まれる取組の実施
- ✓ 「関係人口のプール」づくりと、関係人口がまちづくりに参画するしくみの構築
- ✓ 特定地域づくり事業協同組合の活用
- ✓ 「北竜町版アルムナイ」の構築
- ✓ まちの強み・魅力を活かした分野（農業、観光など）での民間企業インターンシップや、プロジェクトチーム合宿の受入れ
- ✓ クリエーターなど専門人材とのコラボによる稼ぐ力の向上と、イノベーションの創出
- ✓ 町内でのチャレンジ起業支援の創設・充実
- ✓ サテライト・シェアオフィス環境の整備
- ✓ お試し移住体験等移住定住の促進

2 | KPI（重要業績評価指標）

項目	基準値 (2024年度末)	数値目標 (2025年度～2029年度累計)
顔が見える関係性を構築し 北竜町内で活躍する町外者 の人数（関係人口）※再掲	0人	1,600人
新たに増加した 世帯数	0世帯	105世帯

基本目標

5

3 付加価値創出型の新しいまちの経済の創生

- ① 農林業や観光産業を高付加価値化し、自然や文化・芸術など地域資源を最大限活用した高付加価値型の産業・事業を創出する

考えられる施策や取組

- ✓ 北竜町特有の特産品の開発・販売促進
- ✓ 地域資源を活用した高付加価値型の農産物の栽培・産地化
- ✓ あたたかな町民気質や農村文化等を活かした新しい体験や観光サービスの提供
- ✓ ひまわりパーク（仮称）や「観光交流センター」におけるサービスの高付加価値化
- ✓ 公共施設や公共基盤（道路・公園・中心市街地など）のランドデザイン一体化による「まちの全体空間・居場所の高付加価値化」（景観・光・空気・風・音・匂いなど）
- ✓ サンフラワーパーク北竜温泉の魅力強化・環境整備・サービス価値や機能の向上
- ✓ 農村文化・芸術の伝承や、新たな魅力や付加価値向上に向けた支援
- ✓ 中高生が専門人材と学び・つくり・売るなどチャレンジするしくみ&ラボの構築やビジネスのしくみの価値創出と向上

3 付加価値創出型の新しいまちの経済の創生

② 内外から町への投融資を促進する

考えられる施策や取組

- ✓ 農産物加工実習センターの環境整備・加工品の高付加価値化
- ✓ 農畜産物直売所の環境整備・高付加価値な農産物や加工品の販売・ECサイト構築など稼ぐしくみづくり
- ✓ 新しいデジタル技術（ブロックチェーン・NFT等）を活かした外部資金の調達
- ✓ ふるさと納税現地決済型の導入など、新たな寄付手段の促進
- ✓ 企業版ふるさと納税（人材派遣型）の活用
- ✓ 「まちのブランド」や、「ひまわりホールディングス」の取組発信による町の価値向上と、町外からの投資の促進・拡大
- ✓ ふるさと納税関連業務の内製化による地域内経済循環の促進
- ✓ ガバメントクラウドファンディングの実施
- ✓ 子どもや若者など町内人材の高度化・専門化による、人的資本の強化・拡大
- ✓ 起業や新たなビジネスに対する伴走支援体制としくみの構築
- ✓ 町職員の兼業・副業の促進とサポート

3 | KPI（重要業績評価指標）

項目	基準値 (2024年度末)	数値目標 (2025年度～2029年度累計)
新たに開発された 商品やサービスの数	0件	52件
ひまわりパーク（仮称）や 「観光交流センター」の 年間来訪者	246,000 延人	350,000 延人

4 デジタル・新技術の徹底活用

①

ブロックチェーン、DX・GXの面的展開など、デジタル・新技術を活用した付加価値創出など、町の経済の活性化、オンライン診療、オンデマンド交通、ドローン配送や「情報格差ゼロ」など、デジタルライフラインや、サイバーセキュリティを含むデジタル基盤を構築し、生活環境の改善につなげる

考えられる施策や取組

- ✓ まちづくりデジタル人材の育成
- ✓ 農業・福祉・観光デジタル人材等の育成
- ✓ 町内のWi-Fi環境の充実・強化
- ✓ デジタル新技術の導入・利活用の支援
- ✓ 自治体DX（行政・医療情報等）推進
- ✓ 行政デジタル環境の整備とデジタル関連機器等の充実・強化
- ✓ デジタル機器の導入と生活環境の改善
- ✓ まちに関連するサイト・SNSなど情報発信の充実
- ✓ 電子決済・地域通貨の導入促進

- ✓ 共助を促すポイントシステムの導入
- ✓ 地域公共交通におけるAIなどICTの活用
- ✓ 高齢者のスマホ利活用の促進
- ✓ 医療・介護分野のデジタルの活用
- ✓ 子どものDX（学校・保育園等）推進
- ✓ オンラインを活用した学びの場の提供
- ✓ メタバースの有効利活用
- ✓ スマート農業の推進と展開
- ✓ 地域GX（グリーントランスフォーメーション）の推進

basic objective

基本目標

5

4 KPI（重要業績評価指標）

項目	基準値 (2024年度末)	数値目標 (2025年度～2029年度累計)
高齢者（65歳以上）の スマートフォンの保有率	41.4 %	90%
デジタルを活用し 新たに生まれたしくみや サービスの数	0件	10件

1 「産官学金労言」の連携、機運の向上と、新しいまちづくりのしくみ

① 「ひまわりホールディングス」による、総参加のまちづくり



✓ 取組む姿勢

- まち全体をひとつの経営体に見立て、子どもから高齢者まで、町民総参加で進めていく。
- その際には、行政（役場）だけでなく、民間企業や外部の専門人材などと、協働で取組んでいく。
- 取組の中で、「ひまわりホールディングス」に直接的に関わる人や、顔が見える人たち（関係人口）を増やし、関わりを深めていく。
- 同時に、子どもたちなど町民の『タウンプライド』の醸成を図っていく。

横断的目標

6

1 「産官学金労言」の連携、機運の向上と、新しいまちづくりのしくみ

② 地域で知恵を出し合い、地域自らが考え、行動を起こすための合意形成に努める取組を進める

考えられる施策や取組

- ✓ 町内外の「産官学金労言」との連携強化と協働の取組の実施
- ✓ 「ひまわりホールディングス」の「まちの人事部」、「まちの経営管理部」の機能の充実・強化と、新たな合意形成や、行動につながる機能の検討・設置
- ✓ 役場職員による、部局横断の「アクションチーム」による、さまざまな事業の企画・実施
- ✓ “内発的関係人口づくり”のシステム化
- ✓ 地域再生推進法人との連携・協働によるまちづくりエンジンの推進力の最大化
- ✓ 自治体や民間のまちづくり組織等への参加による情報やアイデアの収集、政策企画・立案スキルの向上

1 「産官学金労言」の連携、機運の向上と、新しいまちづくりのしくみ

③ 町と都市部の間で、また町の内外で、人材をシェアする流れやしくみをつくる

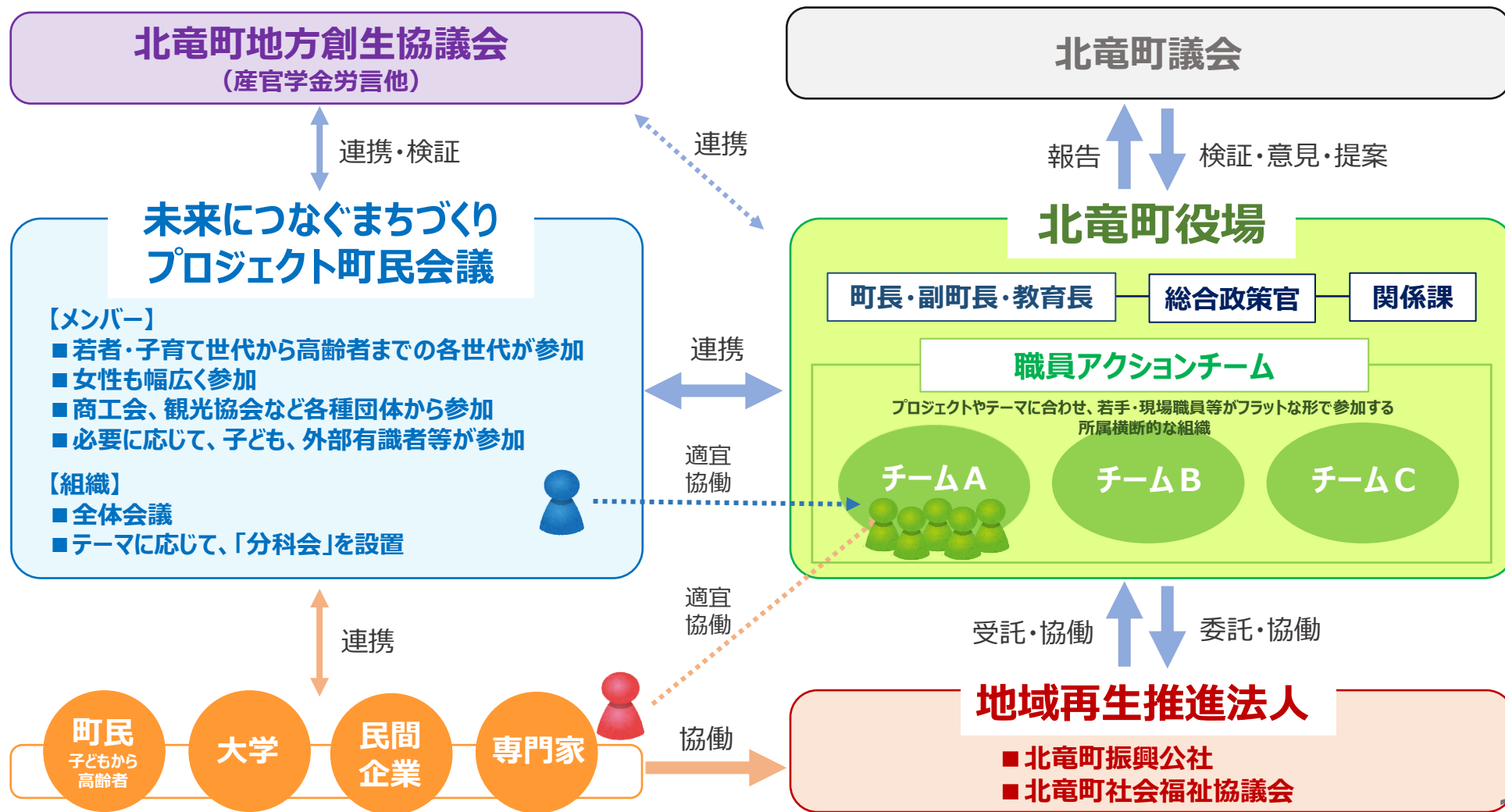
考えられる施策や取組

- ✓ 「ひまわりホールディングス」の「まちのラボ & エデュケーション部」機能の充実・強化
- ✓ 都市部などの民間人材の二地域居住やワーケーションの受入れ、交流の促進
- ✓ 関係人口が活躍できるしごと・地域活動・ボランティア活動づくりと、マッチング & サポートのしくみの構築
- ✓ 短時間ワークシェアリングシステムの構築
- ✓ 特定地域づくり事業協同組合制度を活用した、人材育成・スキルアップなど、学びのしくみの構築と、町内事業者への転職促進
- ✓ 地域おこし協力隊、地域活性化起業人など、国の制度の積極的な活用
- ✓ 「ひまわりホールディングス」による、都市部等のまちづくり人材の研修制度の創設

横 | KPI（重要業績評価指標）

項目	基準値 (2024年度末)	数値目標 (2025年度～2029年度累計)
「ひまわりホールディングス」 で活動する人数	0人	103人
まちづくりに関わる 越境的なチームの数	0チーム	10チーム

1 推進・検証のしくみ



how to proceed 進め方

2 まちのブランドを共有しながら

北竜町の 「ブランドピラミッド」

北竜町の持つ「資産」を「独自の価値」に変換する

＜約束＞を受け取る

町民・交流・
関係人口側
の視点

町民・交流・関係人口が
「北竜町」に対してのみ
感じるポジティブな感情

町民・交流人口・
関係人口が
モノ・サービス、
施策から
直接的に受け取る
良き経験

このブランドの＜約束＞
「ひまわり暮らし」

ブランド構築力

北竜町を誇りに思い、みんなが自分らしく
前向きに生きることを応援し続ける力

感情的な便益

未来に向けたワクワク・チャレンジ・一人ひとりが
自分らしく生きていく力・安心感や自然とともにある豊かさ

機能的な便益・経験

やりたいことを実現するためのプロや仲間が探せるようなサポートがある・自分らしく生きる知識や
スキルが学べる・他地域の人と積極的に交流できる・既存の枠組みにとらわれず新しいことや創造に
チャレンジできる場やしきがある・自然豊かな場所で暮らせる・暮らしに必要な利便性が備わっている

上記の機能的便益が信じられる理由

全ての人のチャレンジを育む人材育成・起業・事業継承などのビジネスづくりを、継続的にサポートする施策・
他地域の人々と交流する事業が継続的に行われている・新たなチャレンジや出会いを生む最新の施設や設備がある

✓ 説明

花が咲いている時は、ひまわりのように太陽の方を常に向いて、栄養をたくわえ、花が終わると、たくさんの種を次世代につなげていく。そんなサイクルの中で、それぞれの人が、人生を明るく豊かに、楽しく過ごせる、北竜町ならではの新しい暮らし。

✓ 説明

自分らしさを育み、生きる力をつけるために楽しく学び、ワクワクできる。一人ひとりが大切にされ、暮らしの中に、安心、喜び、明るい希望があり、自分も周囲の人にも元気を与えられ、結果的に女性や若者に選ばれる。このような人生が、常に豊かな自然とともにある。

2 まちのブランドを維持して支えるしくみ



支えるもの



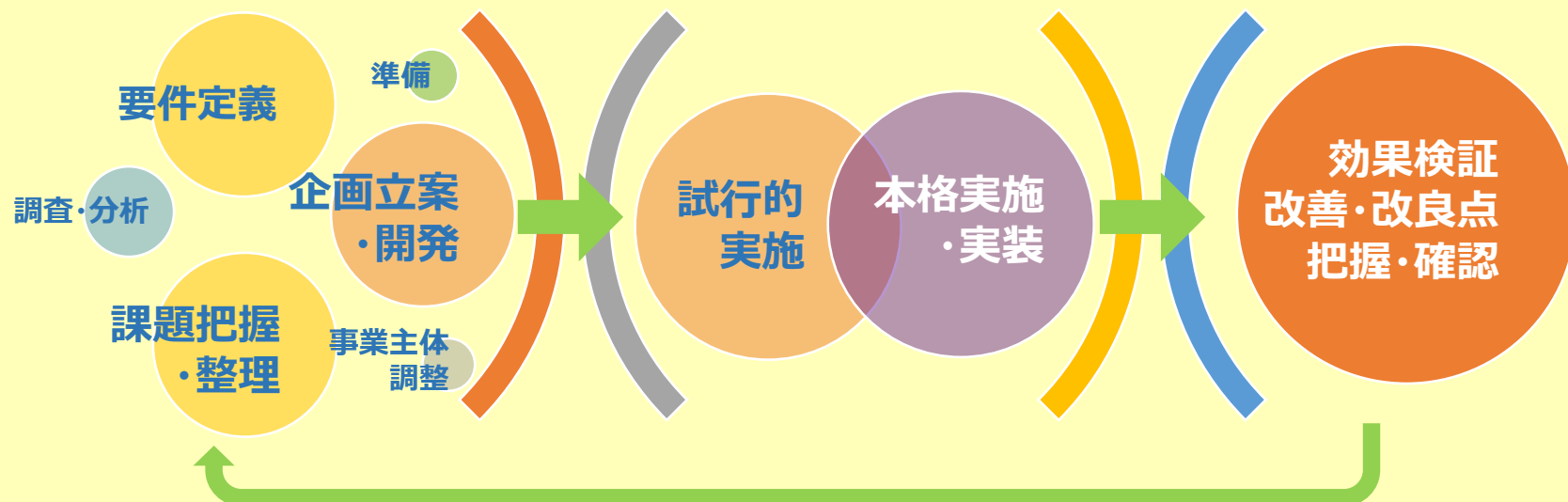
計画期間と進捗

8

5年間 〈2025.4.1～2030.3.31〉

2025
年度2026
年度2027
年度2028
年度2029
年度目標
達成

各取組は、アジャイル型で「素早く実行し、動きながら改善・修正して」進めていく



※見直し・改善・再試行のために